

新中学校の学校像（素案）

1. 新中学校が目指す教育

- ・勝山高校と連携した中高一貫教育を導入
- ・各教科等で学んだことを活用して主体的に考え、最適解を生み出す活動
- ・他者との協働を通して、豊かな情操や規範意識、自己肯定感や他者への思いやり、コミュニケーションを通じた人間関係を築く力、困難を乗り越えものごとを成し遂げる力などを育成

2. 目指す学校像（案）

「新しい時代に生きる力を育む学校」

一人一人の学びを保障し、目標実現を目指した主体的な学びを支援する学校

「夢や希望の実現を支援する学校」

個性や能力を伸ばし、興味関心に応じた将来の目標の設定や実現を支援する学校

「ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校」

地域とつながり、豊富な体験活動を通じたふるさと勝山の学びを支援する学校

「安全・安心で、保護者や地域から信頼される学校」

子どもが互いに認め合い尊重し合って、生き生きと学校生活を送ることを支援する学校

3. 目指す生徒像（案） 3つのC

| | |
|---------------------------|---------------|
| 「他者と協働し主体的に考え判断し行動する生徒」 | Collaboration |
| 「何事にも挑戦し成長し続ける生徒」 | Challenge |
| 「コミュニケーションを通じ互いを認め思いやる生徒」 | Communication |

4. 特色ある教育内容（案）

（1）中高一貫教育

- ・中学校、高校がそれぞれの教育を推進することが基本
（中学卒業後の進路選択は自由）

- ・教育効果の高い授業や活動について中高が連携
- ・県内他地域の中高一貫教育校に比べ、教員・生徒の移動が容易なので連携効果が大きい
- ・勝山高校進学を希望する生徒については、連携枠による簡便な入試の導入を検討

(2) 特色ある教育内容

①高校教員によるアシスト授業

- 中学3年次の数学や英語の授業に高校教員が参加（TT）
 - ・特定の生徒対象ではなく、全クラスで実施
 - ・高校の学習に見通しが持てるよう興味関心を喚起する内容を中心に実施
- 中高それぞれの学習指導の相互理解により、中高教員の指導力が向上

②探究的な学習

- 中学生の学習に高校生が助言したり、中高合同の発表会等を通じて学習内容を深化
- 高校の探究学習に触れることで、視野を広げたり探究スキルを向上
- 中学生に指導助言することで、高校生の資質能力が向上

③生徒会行事や部活動

- 中高生が語る会などを開催し、高校での学習や、将来の夢や希望の実現に向けて意欲を向上
- 高校生の自主的な活動に触れ、中学生の主体性を向上
- 合同練習が可能な部活動では、高校レベルに触れてスキルを向上

④キャリア教育

- 将来の進路選択に役立つ学習を進めるため、学校独自科目の設定を検討
- 生徒が興味関心に応じて主体的に調べ学習を進め、教員が支援
- 高校の教員をはじめ大学や民間企業など外部人材による授業も実施

⑤ICT機器の積極的活用

- Wi-fi やプロジェクターを多数設置するなど校内のICT環境を整備
- 様々な活動で、プレゼンテーションや情報発信を推進
- オンラインによる国内外の学校との交流やネイティブとの英会話などを実施